

たけた

市議会だより

No.16

発行 平成21年8月1日

編集 ■ 市議会だより編集委員会 ☎0974-63-4813 印刷 ■ (有)岡鶴堂



祝『第33回 全国高等学校総合文化祭』出場!

大分県立竹田高等学校 器楽部 の皆さん

今年1月に開催された「平成20年度高文連プラスカーニバル」にて金賞を受賞し、初めての全国大会へ。7月30・31日、各都道府県からの代表校が三重県文化会館(三重県津市)に集う吹奏楽の祭典。竹高魂を胸に“最高の演奏”を期待しています!



シリーズ
若者



「軍神」 広瀬武夫から
「人間」 広瀬武夫へ

今年の年末から明治の躍動を描いたNHKドラマ「坂の上の雲」が放映されます。そのなかで広瀬武夫は準主役級に扱われています。広瀬武夫は旅順港閉塞作戦で部下の為に戦死を遂げ、その義勇から日本初の軍神として祀られます。

「軍神」という響きからか、その後の日本の軍国主義の象徴のように捉えられるがちですが、事実はむしろ反対で、ロシア留学の経験もあり、ロシアとの戦争を誰よりも避けようとした。

また、ロシア語で綴られた書簡は比較文学というジャンルで優れた評価を受けています。

旧制竹田中学校の校歌は「軍神、画聖文武の士」でしたが、校歌を引き継いだ新制竹田高校の校歌では「楽聖、画聖我等が師」と変わっています。時代の流れといえはそれまでですが、時代の流れは今また変化を望んでいます。

テレビ放映は正当な評価のよいきっかけになります。戦争回避主義者だった事実を検証し、しっかりと「人間」広瀬武夫を顕彰していこうではありませんか。竹田から、広瀬中佐のふるさとから全国に向けて新しい流れを創り出していきたいでしょう。

(編集委員長 井 英昭)

「第2回定例会を終えて」

竹田市長選挙を終え、新市長として初めての定例会開催にあたり、首藤市長から、TOP運動を展開し竹田市の活性化を図りたいと所信表明がありました。
第2回定例会を終えて、その主な内容をお知らせします。

予算特別委員会 副委員長 和田 幸生



当予算特別委員会は、議案第59号平成21年度竹田市一般会計補正予算(第2号)について審査した。

今回の補正は当初予算が骨格予算として編成されているため、普通建設事業費や補助費などの政策的経費を重点的に肉付けし、編成された予算である。

補正額は、歳入歳出ともに14億538万4千円の増額で、予算総額は181億7,191万2千円となり、前年度当

初予算と比較すると9.6%の増となる。



予算特別委員会(H21.6.17)

主な内容は、農林水産業費に5億1,100万円(農業経営構造対策事業等)、土木費に1億6,900万円(県営事業負担金や市営住宅整備費)、新規補助金として小児保健医療体制整備補助金など7件が計上されている。

また観光関係では、全国へ情報発信を行うおおいた夢街道実行委員会への負担金や「岡城跡の世界遺産登録への挑戦」フォーラムの開催経費等が計上されている。

その他は次のとおり

- 総務費 2億5,257万円(地方総合整備資金貸付金1億6千万円等)
- 民生費 6,322万円(社会福祉協議会補助金2,399万円等)
- 衛生費 2,943万円(リサイクルセンター計画策定等業務委託料930万円)
- 商工費 4,644万円
- 消防費 7,229万円
- 教育費 1億8,191万円

当委員会では、慎重審議の結果、採決は起立により行い、起立多数で原案どおり可決した。

第2回定例会

《提出議案の審議結果》

- ▽竹田市監査委員の選任について 同意
- ▽竹田市公平委員会委員の選任について 同意
- ▽竹田市教育委員会委員の任命について 同意
- ▽平成21年度竹田市一般会計補正予算(第2号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市水道事業会計補正予算(第1号)について 可決
- ▽竹田市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について 可決
- ▽竹田市国民健康保険条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市中心身障害者福祉手当条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市分担金徴収条例等の一部改正について 可決
- ▽竹田市営久住牧場条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について 可決
- ▽過疎地域自立促進計画の変更について 可決
- ▽市道路線の認定について 可決

《請願の審査結果》

- ▽義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出を求める請願 採択
- ▽市道認定に関する請願 採択
- ▽農地法の「改正」に反対する請願 不採択
- ▽農業公社の運営に対する支援を求める意見書の提出を求める請願 採択

《意見書の審査結果》

- ▽共同労働の共同組合法(仮称)の速やかな制定を求める意見書 可決
- ▽義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書 可決
- ▽農業公社の運営に対する支援を求める意見書 可決

会派代表質問

平成21年第2回定例会は、6月5日から6月25日までの21日間の日程で開かれました。6月11日は、3会派の代表者による代表質問、6月12日・15日は、6人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。
 なお、原稿は議員本人が執筆しています。



緑風会
中村 憲史 議員

農業振興施策について

中村 今日の農業情勢のなかでの新たな振興対策は。

市長 TOP運動を通して、竹田でしかできない農業、「竹田らしさ」の農業を展開し、農協と協調し流通・販売・加工の強化に努める。畜産においては肥育拠点を確立したい。

中村 観光に大きな影響のある草原の保全は。

市長 条例を改正するには高度な分析が必要。ボランティアや県、関係機関の支援を受けな

がら有効な手だてを考える。

中村 企業参入による農業は。

市長 自然の力、地域の力を活かし、自然環境に恵まれた地域であれば、地域にふさわしい企業参入を支援する。当竹田市においても地の利を活かした参入がある。

市民への情報公開について

中村 ケーブルテレビの現状は。加入状況及び今後の対応は。

「ブロードバンド整備には、大幅増の助成」との報道がなされているが、竹田市の場合はどうなるのか。

市長 竹田市全体で31%である。事業の中止は考えていない。助成率については全国市長会でも議論がされた。今後は市民負担の軽減また法人等の工事

費の軽減を図りながら、市民の皆さんの理解をいただくように努力する。

企画情報課長 国の政策でありどうしようもならない。

中村 保険税の改正の周知は十分に行ったのか。

市長 近年の社会状況を反映し、平成20年度において現年度徴収率88.8%であり、枯渇した基金を復活させることが急務である。

税務課長 保険税は全体的に19年度に対して20年度は1.4倍となっている。



質問に答える首藤市長

農業政策について



新風会
加藤 正義 議員

加藤 後継者育成が急務だが、どう取り組むのか。

市長 まず、①若者が農村に住める環境づくり。就農に固執せず、農村後継者の発想で定着を図る。②希望の持っている、もうかる農業を。③働きやすい労働環境づくり。④後継者グループを育成、仲間意識の醸成を図る。⑤研修制度を充実する。

農村回帰宣言市の標榜について

加藤 具体的な取り組みは。

市長 他の自治体にはない戦略が必要。実態調査を行い、政策を。農村回帰センターの立ち上げや設置する竹田事務所や政策参事官による情報発信も行う。

世界遺産登録への挑戦について

加藤 岡城跡は市民の誇りであるが、挑戦の位置づけは。

市長 市の魅力を高める行動が生まれ、生活や文化の経緯を多くの人に見せることで、魅力を再確認する意義がある。

加藤 その登録への可能性は。

市長 審査が厳しさを増し、ハードルは高い状況。



岡城跡の世界遺産登録への挑戦(近戸門)

市長 世界遺産登録だけが目的ではなく、文化財と周辺の環境との一体的な保存と活用を図り、地域の魅力再発見へとなれる。

加藤 阿蘇・久住を含めた工

リアにはいかかがか。
市長 阿蘇も提案し、暫定リス
 トで高い評価であり、資産構成
 に追加できるか今後の課題。

**緊急経済対策への
対応について**

加藤 市民の意見を聞き、その
 後、市民代表の参加する集約・
 調整の場はあるのか。
市長 15か所で地区懇談会を
 開き、地域審議会でご意見を
 伺う。



新政クラブ
足達 寛康 議員

ケーブルテレビについて

足達 見直しする内容とは。
市長 基本使用料を高年齢者等
 にも配慮し、1、2000円に

して不要な伝送路等無駄をな
 くす。

地域医療の充実について

足達 充実施策とは。
市長 県、地元医師会等と十
 分対話を重ねていく。
足達 市独自で地元帰化制度
 を活用し医師確保としては。
市長 環境整備が優先。

農業振興施策について

足達 畜産物の飼料価格高騰
 分の補填額と補填時期はいつ
 か。
市長 飼料価格は高騰前に
 戻っており、TOP懇談会や生
 産者組織の意見を聞きながら



15か所で開催されたTOP懇談会

検討していきたい。

足達 畜産部門の全てに高騰
 分を補填すべきと思うが。

市長 支援可能な範囲を調査
 し生産現場に届くように、県
 関係機関と協議、検討する。

足達 補助金が大幅増額され
 た飼料種の推進をしてはどうか。

農政課長 大いに推進したい。

足達 椎茸種こまの助成金は。

市長 要望を聞きながら、財
 源の許す限り支援策の検討を
 重ねていきたい。

公共投資臨時交付金について

足達 効率的な交付金への取
 組みはどのようになってい
 るのか。

市長 各課で選定作業中、現
 段階では3億円超位。

財政について

足達 厳しい状況下なので行
 革を続行すべきと考えるが。

市長 行政運営を根本から見
 直し、国・県の動向にも配慮
 する。

足達 マニフェストにも財政の
 裏付けがなく、今後の行政運営
 が危惧されるが。

市長 地域活性化経済危機臨

時交付金や公共投資臨時交付
 金等に対応し、投資効果を期

待すべく予算編成を行えば、大
 丈夫と考える。

一般質問



吉竹 悟 議員

**市長のマニフェストに
ついて**

吉竹 あったか対話行政とは。

市長 市の自立には、企画立案
 能力と政策能力が最も必要で
 ある。政策を見出すために
 「TOP懇談会」を15か所で開
 催し「あったか対話行政の心
 髓」を見いだす。併せて広報公
 聴活動も充実をしていく。

吉竹 農業振興策は如何か。

市長 畜産価格低迷が気に
 なっている。

椎茸の「種こま」支援策も打
 ち出そうと思っている。

農業は「命の産業」と考え、
 市ならではの農業政策を打ち
 出す為に、中央での政策参事官

の導入、東北・関東・関西・福岡に
 設置予定の竹田事務所長のマン
 パワーを持つて販路開拓の道を
 切り開き、今回の経済緊急対
 策の交付金でその芽出しもやっ
 ていきたい。

吉竹 周辺部・支所機能への考
 えは。

市長 特に標榜している農村
 回帰宣言の受け皿として、支所



公民館活動で地域コミュニティの再生を!
(入田名水祭)

機能を高め、教育の街づくりを提案し、公民館活動で、地域コミュニティの再生をすすめる。



8月から小児科が再開される竹田医師会病院

吉竹 地域医療の確立はどうか。

市長 医師を受け入れる住居整備などしなければ、なかなか山間部には来てもらえない。医師会、医師会病院との対話を重ね、県と共にサポートしていきたい。

ケーブルネットワーク整備事業について

吉竹 設計コンサルが6月末で自己破産するが、把握しているか？

企画情報課長 今月中に自己

破産手続きをすると連絡があった。

市長 協会が、自己破産の申請手続きを正式に決定したと通知されている。設計内容の精査を外部機関において厳密にチェックをする必要がある。市民に不安・不信感が生じないように最大限の努力を重ねていく。



佐田 啓二 議員

行財政改革について

佐田 行財政改革の成果をどう評価しているか。

総務課長 平成17年度から21年度までの計画期間全体で目標の約43億9千万円の効果額が達成できそうだ。平成20年度に基金が枯渇するという状況は、この行財政改革により回避できた。

佐田 市長のマニフェストと行財政改革の整合性は。

市長 竹田市の行財政改革の方向性は萎縮ではなく、創造性

に夢をかけた。支所機能の充実については、職員が多いのであればそれを竹田の特性として新たに周辺部衰退の再生の力として活かしたい。

ケーブルネットワーク

佐田 「徹底した再検討」とは。

市長 設計そのものを地域の実情に合わせて見直す。無駄があるのではないかと十分な精査を行う。総務省が先般出した追加経済支援策については同じような自治体と協議をしながら、内容を精査して市民の負担が軽減されるように努めたい。



廃止が予想される民間の路線バス

バス対策について

佐田 民間の路線バス運行は、どんな方向で進んでいるのか。

企画情報課長 今年10月以降は57号線と442号から直入に続く路線を除き、全てが廃止の方向に動いている。

佐田 もっと便利なコミュニティバス等の運行についてどのように考えているか。

市長 暮らしの安心・安全確保のために、さらに細かな対策が必要と考え、先進事例を調査している。方向がまとまれば、関係機関等にご相談申し上げる。

佐田 規制緩和で業者が乱立、「安からう悪からうでは駄目」競争入札の場合、地場企業が価格のみで追い出されることのないよう「総合評価方式」等検討してほしい。



河野 泰浩 議員

国保税の引き下げについて

河野 21年度と19年度の税額算定基準は。

保険課長 19年度国保会計が大幅な赤字が見込まれ引き上げた。

19年度一人当たり63,036円、20年度は100,331円となっているが、単純に年度での比較はできない。

河野 県下の保険税の実態は。 **保険課長** 総合的に竹田市は高く、姫島村が一番低くなっている。

河野 滞納額と世帯数は。 **税務課長** 滞納額は一世帯292,905円、1,045世帯(加入世帯の約21%)となっている。

河野 保険証の交付の実態は。 **保険課長** 短期保険証は350世帯、資格証明書交付は5



世帯で、発行は納税相談にまつたく応じない滞納者。

河野 県下でも2番目に高い保険税、払いたくても払えない。国の制度見直しも含めて一人当たり1万円の引き下げを要求する。

ケーブルテレビ事業について

河野 前市長に何度も要望書を出して、説明会・アンケート等で市民の声をよく聞くよう求めたが、強引に押し進められた。市民の納得がいくまで凍結してほしい。国の補助が増額されたが適用されるのか。

市長 ケーブルTV事業に関しては、もう工事中止・契約の解除の選択肢はないと断言する。

いま中止すると、何も手に入らず20億円の支払いとなる。中止は考えられない。国の補助（経済危機対策臨時交付金）は、もう始まっている事業に関しては、該当しないと断言しているため、適用されない。



渡辺 龍太郎 議員

市街地活性化対策について

渡辺 地域活性化・経済危機

対策臨時交付金で旧1市3町の中心街の空き店舗を活用し、商店街、商工会議所と協力してお年寄り子どもたちが交流できるセンターをつくり、そこにデマンド交通のオペレーションセンターを機能させ、市民の公共交通に対する満足度を高めたらどうか。

市長 コミュニティーバス、



豊後高田市の「市民乗合タクシー」

交流センター、乗合タクシー、予約を最優先するデマンド交通のこれは、本当に検討に値する価値ある政策だと思う。これによって賑わいが創出され、商店街を含めた周辺地域の経済の活性化が図られるということであれば、一石二鳥、三鳥の効果があると思う。

加えて今回整備しているケーブルネットワークシステムにおいても、そのオペレーションセンターの役割をこれに付帯させるいろんな政策で、それぞれの場所から、デマンド交通が利用できるというようなことが可能ではないかという思いがする。

高齢者の健康づくり、産業振興、コミュニティの再生、あらゆる政策がこれによって立ち上がってくると思えることばらしいことだと思っている。

さらに、1市3町それぞれをリンクさせることよっての経済活動、商業振興を図っていくという意味でも大きなメリットがあるのではないか。

今、乗合タクシーの制度化、研究を進めているところであるが、同時に指摘のデマンド交通の優位性についても早急に研究をしていきたい。

渡辺 竹田の市街地には、幸いにもまだ都市機能（銀行や病院、郵便局等）が残っている。早い時期にお願いしたい。



高齢者の「足の確保」が急務



井 英昭 議員

ケーブル事業について

井 事業に反対する署名が提出されたが、自分の土地の電柱にケーブルを架けさせないケースもあると聞く。何件ほどか。

企画情報課長 約30件からま

だ承諾を得ていない。とりわけ幹線部分はその先の工事の進捗が遅くなってしまう。防災告知機能などは市民全体の公共性に関わる事業でもあり、他の市民に迷惑をかけることになるので今後も協力を得られるよう説得していく。

豊鳴フォーラムの対応について

井 司馬遼太郎原作の「坂の上の雲」がNHKスペシャル大河ドラマとして今年の秋から放送される。竹田市出身の広瀬武夫は準主役級で扱われ、来年には旅順港閉塞作戦が放映され、その後はブームが起こることが予想される。それにあわせ来年には豊鳴



広瀬武夫

フォーラムが竹田市で開催される。準備を通じて市民レベルの横の連携も期待できるが、調整役の市役所内の係の設置はどうか。



来年竹田市で開催される囀鳴フォーラム

市長 企画情報課内で担当させる。井 広瀬武夫顕彰会や瀧廉太郎、田能村竹田など、その他の顕彰団体と連携して実行委員会方式でたくさんの方の市民の参画をめざしてはどうか。市長 それらの団体のこれまでの活動をしっかりと顕彰し、囀鳴フォーラムを通じて次の竹田市を育むエネルギーとしたい。

経済危機対策 (国の補正予算)について

井 約15兆円の大型補正予算が国会で審議中で、竹田市にも約7億円が交付される。その他にも提案公募型の予算枠があると聞いている。竹田市として積極的に提案すべきと提言した。



阿部 雅彦 議員

竹田市の教育の現状と 中・長期的展望について

阿部 宮崎県五ヶ瀬町では統廃合しない教育のまちづくりを推進しているが、市内小・中学校の統廃合による教育のどのようなに考えているか。

教育長 学校再編計画に当たっては、地域の活性化や地域コミュニティの再生の考えを重視し、学校現場・社会教育の現場そして地域の皆様との対話による理解と協力の上に立ち、学校配置の在り方



他の地域の学校との交流会

を考えた。阿部 中・長期的な竹田市の教育のビジョンはいかに。市長 統廃合については子ども達・保護者や地域のことを考えて方向を模索したい。これからの教育は、戦後教育の中の知識力・記憶力を求めるものから人間として自分ができるようになっていくのかを自分自身で気づいていくための手助けをいかにしていくかが教育の目指すところだ。

地域経済の活性化について

阿部 より継続的な内需拡大策をどのように考えているか。市長 プレミアム商品券の後期発行分に引き続き、本事業の

の支援策を打ってもよいのでは。

阿部 中心市街地の活性化についての取り組みはいかに。市長 交流ステーションの機能はすばらしいし勉強したいが、竹田らしい街づくりの方向性の意志統一の作業が急務だ。



新パッケージ事業で商品化された産品等を紹介する「エリアラボたけた」がオープン

観光振興計画について

阿部 観光振興の計画と組織の見直しをどのように考えるか。市長 基本計画を早急に練り直し、関係組織の横の連携による結束力を高めたい。

バイオマスタウン構想

阿部 バイオマスタウン構想の今後の計画の見直しは。企画情報課長 地域エネルギーのバイオマスタウンの調査・研究をバイオマスタウン構想の早期の策定を目指したい。

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞いなどのあいさつ状を廃止させていただいております。また本年度初盆を迎えられるご家庭への供物等につきましても失礼させていただきます。新仏のご冥福をお祈りいたします。



竹田市議会

議会改革調査 特別委員会 設置

第2回定例会最終日の25日に、「議会改革調査特別委員会」を設置しました。

今後は、7人の委員で構成するこの特別委員会で、議会改革の推進について調査・研究をまいります。

- 【委員長】 伊藤 孝信
- 【副委員長】 坂梨宏之進
- 【委員】 佐田 啓二 日小田秀之
- 河野 泰浩 渡辺龍太郎
- 森 哲秀



議会改革調査特別委員会委員

市議会議長会表彰



古井久和前議長

去る5月27日、東京日比谷公会堂で開催された第85回全国市議会議長会総会の席上、古井久和前議長が正副議長在職8年以上の功績により特別表彰の榮譽に浴されました。

なお、古井久和前議長は、同総会において、全国市議会議長会の評議員としての功績により感謝状も授与されました。

また、足達寛康議員が副議長在職4年の功績により、荒巻文夫議長、和田幸生議員、本田忠議員が市議会議員在職10年以上の実績により、表彰の榮譽に浴されました。



市議会だより編集委員会委員
(皆様から親しまれる市議会だよりを目指します)

お知らせ

本会議を傍聴しませんか

本会議は公開されていますのでどなたでも傍聴することができます。

皆様のお出でをお待ちしています。

※次回定例会は9月上旬予定です。

会議録を公開しています

まどがき

▼梅雨入りはしたものの真夏を思わせる晴天続き、後半に雨が集中したため、田植えに苦労するはめになった。できれば平均的に降ってほしいものだが、晴れ間が続いた分、虫狩りには良い年だったのでは。

渡辺 克己

▼親子ふれあい事業に参加、久しぶりに子どもたちとプールで遊ぶ。竹田市の未来を背負う子どもたち頑張れ!

中学軟式野球で選抜チーム結成一般の監督の下、選手保護者の評価も上々、頑張れ未来の甲子園球児。

渡辺 龍太郎

▼今回の選挙で市民の意見を聞いて市政に反映。「聞く」は耳で大きくことで知り次に伝える。「聴く」は耳と目と心全身で相手の発する情報を、きくことで相手への共感度も増してくる。「よし聴くぞ」全身を耳にして。

森 哲秀